

2 6 葛 予 第 2 8 4 号
平成 2 6 年 1 0 月 1 4 日

町 会 長
各 自 治 会 長 様

東 京 消 防 庁
葛西消防署長 長谷川 伸生
(公 印 省 略)

平成 2 6 年秋の火災予防運動の実施に伴う協力について (依頼)

平素から消防行政に対し、深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年も空気が乾燥し始め、暖房器具等の火気を取り扱う機会も増えたことから、火災が発生しやすい時季を迎え、火災の発生を防止し、火災から尊い生命と貴重な財産の損失を防ぐことを目的として、11月9日(日)から15日(土)までの間、「秋の火災予防運動」を実施いたします。

当署におきましても、本運動期間中の重点として、別記「平成 2 6 年秋の火災予防運動実施要綱」のとおり、「災害のない安全な葛西のまちづくり」を推進いたします。

つきましては、貴町会・自治会におかれましても、本運動の主旨をご理解いただき、より一層防火防災にご尽力いただきますとともに、同封いたしましたポスター等の掲示、回覧等にご配慮くださいますようお願いいたします。また、下記につきましてもご配慮並びにご協力賜われますよう重ねてお願いいたします。

記

1 防火のつどいの開催について

防火のつどいを次のとおり開催いたしますので、お誘い合わせのうえ、ご来場いただきますようご案内申し上げます。

- (1) 日時 平成 2 6 年 1 1 月 8 日 (土) 1 3 時 0 0 分から 1 6 時 0 0 分まで
- (2) 場所 江戸川区葛西区民館 (中葛西三丁目 1 0 番 1 号)
- (3) 内容 第 1 部 火災予防業務協力者に対する表彰式
第 2 部 東葛西中学校吹奏楽部による公演会
第 3 部 お楽しみ抽選会

2 防火防災訓練の実施及び座談会の開催について

- (1) 火災、地震その他の災害に備え、地域が一体となった防火防災訓練の実施をお願いします。
- (2) 放火防止対策及び地震に備えた家具類の転倒・落下・移動防止対策等に関し、座談会の実施をお願いします。
- (3) 防火防災訓練及び座談会を開催される場合は、最寄りの消防署所へご連絡の上、別紙「防火防災訓練実施通知書」によりご通知ください。また、ご要望がありましたら、3.11 東日本大震災、伊豆大島の土砂災害及び御嶽山火山災害の各派遣隊による講演にも対応いたしますのでご連絡ください。

問合せ先

葛 西 消 防 署	電 話	3 6 8 9 - 0 1 1 9
予 防 課 防 火 管 理 係	内 線	5 2 0 芥 川 山 本
警 防 課 地 域 防 災 担 当	内 線	3 2 1 鈴 木 山 田
船 堀 出 張 所	電 話	3 6 8 8 - 0 1 1 9
		信 田 赤 座
南 葛 西 出 張 所	電 話	3 6 8 0 - 0 1 1 9
		市 原 河 田

平成26年秋の火災予防運動実施要綱

葛 西 消 防 署

1 趣 旨

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、都民の火災予防意識の高揚を図り、火災の発生を防止し、火災から尊い命と貴重な財産の損失を防ぐことを目的としています。

2 実施期間

平成26年11月9日（日）から11月15日（土）まで

3 共 催

葛 西 消 防 団

葛 西 防 火 防 災 協 会

葛 西 防 火 管 理 研 究 会

葛 西 危 険 物 安 全 会

4 運動の推進標語

「うれしいね 防火で笑顔の 人と町」

（平成26年度東京消防庁防火標語）

作者 入月 千代子（いりづき ちよこ）さん（世田谷区在住）

5 運動の重点

(1) 住宅防火対策の推進

平成26年上半期（1月～6月）に東京消防庁管内で発生した火災は2,519件で、住宅火災は888件となります。

ア 災害時要援護者の人命安全確保対策の推進

今年に入ってから住宅火災による死者47人のうち、65歳以上の高齢者の死者は44人（93.6%）で、住宅火災による死者に占める高齢者の割合は増加傾向にあり、5年間で最も高い割合となっています。このことから、特に災害時要援護者自身及びその支援者の防火防災意識の啓発と居住環境の安全対策向上のため、協力関係機関と連携した防火防災診断を実施します。

イ 出火原因に着目した住宅防火対策の推進

住宅火災による死者が発生した出火原因は、「たばこ」、「ストーブ」、「こんろ」及び「放火」が上位を占めています。このことから、寝たばこ厳禁の注意喚起やストーブの適正利用、こんろによる着衣着火防止、敷地内の整理整頓、物置などの施錠管理等の放火火災予防対策等について、防火防災診断等の機会を捉えて出火防止対策を指導します。

ウ 住宅用防災機器等の普及促進及び正しい維持管理の周知

今年に入ってから住宅火災による死者のうち、住宅用火災警報器（住警器）を設置していない住宅における死者が約6割を占めていることから、住警器が未設置、一部設置の住宅への設置促進を図るとともに、設置している住宅には作動確認等を含めた適正な維持管理について周知を図ります。

エ 放火火災予防対策の促進

放火火災は、葛西消防署管内において、例年、出火原因の1位で推移しており、

平成26年9月30日現在件36件で、放火火災が全火災件数に占める割合は49パーセントと依然高い状況にあります。

放火火災を防ぐため、放火されない環境づくりを事業所、町会・自治会及び住民が一体となって取り組むよう防火防災訓練等の機会を捉え推進します。

(2) 事業所の防火安全対策の推進

ア 事業所の防火防災に係る資格者に対する実務指導

管内事業所に勤務している防火防災に係る資格者に対する実務講習会を開催し、防火防災意識の高揚と事業所の安全対策推進の啓発を図ります。

イ 危険物施設に対する自主保安管理体制の指導

危険物施設に勤務する危険物取扱者に対する実務講習会の開催及び危険物施設への立入検査を実施し、自主保安管理体制について指導します。

ウ 飲食店等の火気電気使用設備等からの出火防止対策の指導

管内の飲食店において発生した火災の原因は、火気電気使用設備等の維持管理不適により出火していることから、飲食店等に対し、火気電気使用設備の点検・整備・清掃の徹底及び使用放置の禁止について指導します。

(3) 地域の防火安全対策等の推進

ア 地域住民等が主体となった防火防災訓練の実施と参加の促進

地域の共助体制の確立と地域の防災行動力向上のため、地域の消火資器材等を活用した、まちかど防災訓練や、災害時要援護者の対応を取り入れた防火防災訓練の実施を呼び掛けます。また、当署管内の防火対象物の6割は共同住宅であることから、火災の発生時には、各住戸を隔てるベランダの仕切り板を破壊して有効な避難経路を確保するよう併せて指導します。

イ 地震時における出火防止対策としての家具類の転倒・落下・移動防止対策

近年発生した大規模地震では、家具類の転倒・落下により火災が発生した例が報告されているため、特に、火災による被害の拡大が懸念される木造住宅密集地域等において、家具類の転倒・落下・移動防止対策による出火防止対策を推進します。

(4) 東京消防庁救急相談センター（＃7119）＆東京版救急受診ガイドの周知

救急車は、皆さんの命を守る都民共有の貴重な財産です。

軽症事案で救急車が出場している間に、本当に救急車を必要とする方への対応が遅れて、助かる命が助からなくなってしまうこともあります。

ご自分で「病院へ行ったほうがいいのかな？」「救急車を呼んだほうがいいのかな？」と迷った時は、ぜひ「東京消防庁救急相談センター（＃7119）」をご利用ください。「救急相談センター」では、医師・看護師・救急隊経験者などの職員が、親切、丁寧に相談に対応いたします。

また、平成24年4月より、急な病気やけがに際して都民が自らの緊急性や受診の必要性を判断できる「東京版救急受診ガイド」をホームページで公開しています。また、冊子「東京版救急受診ガイド」も消防署に常設していますので、ご活用をお願いいたします。

平成 年 月 日

葛西消防署長殿

職

代表者 氏名

電話

防火防災訓練等実施通知書

実施場所	江戸川区 町丁目 番号 (名称等)		
実施団体			
実施日時	平成 年 月 日 () 時 分から 時 分まで		
訓練種別	1. 身体防護訓練 2. 出火防止訓練 3. 初期消火訓練 4. 救出・救助訓練 5. 応急救護訓練 6. 通報連絡訓練 7. 避難訓練 8. その他の訓練 () 《 ・煙ハウス体験 ・起震車体験 ・講演(講話)会 ・座談(映画等)会 》		
	○ 総合防災教育(保育幼稚園、小中高校)		
参加人員	総数 内訳	担当者職氏 名	
	名 名 名	電 話	()
訓練概要			
※ 受 付 欄		※ 準 備 資 器 材 等	

※ この欄は記入しないで下さい。